

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年3月17日(2005.3.17)

【公表番号】特表2004-505931(P2004-505931A)

【公表日】平成16年2月26日(2004.2.26)

【年通号数】公開・登録公報2004-008

【出願番号】特願2002-517102(P2002-517102)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 47/08

A 6 1 K 9/06

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/12

A 6 1 K 47/32

A 6 1 K 47/34

A 6 1 K 47/36

A 6 1 K 47/38

A 6 1 K 47/46

【F I】

A 6 1 K 47/08

A 6 1 K 9/06

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/12

A 6 1 K 47/32

A 6 1 K 47/34

A 6 1 K 47/36

A 6 1 K 47/38

A 6 1 K 47/46

【手続補正書】

【提出日】平成15年4月16日(2003.4.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

経皮投与又は経粘膜投与に適し、ゲルまたは溶液の形態をとる医薬組成物であって、アンドロゲン・ホルモンのクラスに含まれる活性剤と、

a) n が整数 $8 \div 22$ 、好ましくは $8 \div 12$ 、最も好ましくは 10 である、式 $\text{CH}_3 - (\text{CH}_2)_n - \text{CH}_2\text{OH}$ の飽和脂肪族アルコールもしくは飽和脂肪酸 $\text{CH}_3 - (\text{CH}_2)_n - \text{CH}_2\text{COOH}$ 、又は n が整数 $8 \div 22$ である、式： $\text{CH}_3(\text{C}_n\text{H}_{2(n-1)}) - \text{OH}$ もしくは $\text{CH}_3(\text{C}_n\text{H}_{2(n-1)}) - \text{COOH}$ の不飽和脂肪族アルコールもしくは脂肪酸、

b) $\text{C}_1 \div \text{C}_4$ アルコール、ポリアルコール、特にプロピレン・グリコール、及び水から構成される三元ビヒクル又はキャリアー、

c) 必要に応じてジエチレングリコールのモノアルキルエーテルの組み合わせからなる透過促進剤とからなることを特徴とする医薬組成物。

【請求項 2】

- 前記成分 a) が量的に 0.1 重量% ~ 20 重量% の範囲 (好ましくは 0.2 ÷ 3 % の範囲) にあり、
 - 前記成分 b) が、全組成物に対して、アルカノールの 5 重量% ÷ 75 重量% 及びグリコールの 0.5 % ÷ 50 % からなり、
 - 前記成分 c) が量的に最大 40 重量% (好ましくは 2 ÷ 8 %) である、
 請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

ゲル化剤としてゲルの形態をとる請求項 1 又は 2 に記載の医薬組成物であって、

- カルボボールのようなポリアクリル酸
 - ヒドロキシプロピルメチルセルロース、カルボキシメチルセルロース、エチルヒドロキシエチルセルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒドロキシエチルセルロースのようなセルロース誘導体
 - ポリビニルピロリドン
 - ポリオキシエチレン / ポリオキシプロピレン・コポリマー
 - ポリビニルアルコール
 - 天然ゴム、アルギン酸塩、ペクチン

からなる医薬組成物。

【請求項 4】

前記ゲル化剤の量が 0.2 重量% と 30 重量% の範囲内にある請求項 3 に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

経皮投与又は経粘膜投与に適し、ゲルまたは溶液の形態をとる医薬組成物であって、ベンゾジアゼピン型もしくはアミド型を含む鎮静薬または抗不安薬のクラスに含まれる活性剤と、

a) n が整数 $8 \div 22$ 、好ましくは $8 \div 12$ 、最も好ましくは 10 である、式 $\text{CH}_3 - (\text{CH}_2)_n - \text{CH}_2\text{OH}$ の飽和脂肪族アルコールもしくは飽和脂肪酸 $\text{CH}_3 - (\text{CH}_2)_n - \text{CH}_2\text{COOH}$ 、又は n が整数 $8 \div 22$ である、式： $\text{CH}_3(\text{C}_n\text{H}_{2(n-1)}) - \text{OH}$ もしくは $\text{CH}_3(\text{C}_n\text{H}_{2(n-1)}) - \text{COOH}$ の不飽和脂肪族アルコール、

b) $\text{C}_1 \div \text{C}_4$ アルコール、ポリアルコール、特にプロピレン・グリコール、及び水から構成される三元ビヒクル又はキャリアー、

c) 必要に応じてジエチレングリコールのモノアルキルエーテルの組み合わせからなる透過促進剤とからなることを特徴とする医薬組成物。

【請求項 6】

- 前記成分 a) が量的に 0.1 重量% ~ 20 重量% の範囲 (好ましくは 0.2 ÷ 3 % の範囲) にあり、
 - 前記成分 b) が、全組成物に対して、アルカノールの 5 重量% ÷ 75 重量% 及びグリコールの 0.5 % ÷ 50 % からなり、
 - 前記成分 c) が量的に最大 40 重量% (好ましくは 2 ÷ 8 %) である、
 請求項 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

ゲル化剤としてゲルの形態をとる請求項 5 又は 6 に記載の医薬組成物であって、

- カルボボールのようなポリアクリル酸
 - ヒドロキシプロピルメチルセルロース、カルボキシメチルセルロース、エチルヒドロキシエチルセルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒドロキシエチルセルロースのようなセルロース誘導体
 - ポリビニルピロリドン
 - ポリオキシエチレン / ポリオキシプロピレン・コポリマー

- ポリビニルアルコール
- 天然ゴム、アルギン酸塩、ペクチン

からなる医薬組成物。

【請求項 8】

前記ゲル化剤の量が 0.2 重量%と 30 重量%の範囲内にある請求項 7 に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

経皮投与又は経粘膜投与に適し、ゲルまたは溶液の形態をとる医薬組成物であって、抗高血圧活性薬と、

a) n が整数 $8 \div 12$ 、最も好ましくは 10 である、式 $\text{CH}_3 - (\text{CH}_2)_n - \text{CH}_2\text{OH}$ の飽和脂肪族アルコールもしくは飽和脂肪酸 $\text{CH}_3 - (\text{CH}_2)_n - \text{CH}_2\text{COOH}$ 、

b) $\text{C}_1 \div \text{C}_4$ アルコール、ポリアルコール、特にプロピレン・グリコール、及び水から構成される三元ビヒクル又はキャリアー、

c) 必要に応じてジエチレングリコールのモノアルキルエーテルの組み合わせからなる透過促進剤とからなることを特徴とする医薬組成物。

【請求項 10】

- 前記成分 a) が量的に 0.1 重量% ~ 20 重量%の範囲（好ましくは 0.2 ~ 3 %の範囲）にあり、

- 前記成分 b) が、全組成物に対して、アルコールの 5 重量% ~ 75 重量%及びグリコールの 0.5 % ~ 50 % からなり、

- 前記成分 c) が量的に最大 40 重量%（好ましくは 2 ~ 8 %）である、
請求項 9 に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

ゲル化剤としてゲルの形態をとる請求項 9 又は 10 に記載の医薬組成物であって、

- カルボポールのようなポリアクリル酸

- ヒドロキシプロピルメチルセルロース、カルボキシメチルセルロース、エチルヒドロキシエチルセルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒドロキシエチルセルロースのようなセルロース誘導体

- ポリビニルピロリドン

- ポリオキシエチレン / ポリオキシプロピレン・コポリマー

- ポリビニルアルコール

- 天然ゴム、アルギン酸塩、ペクチン

からなる医薬組成物。

【請求項 12】

前記ゲル化剤の量が 0.2 重量%と 30 重量%の範囲内にある請求項 11 に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

経皮投与又は経粘膜投与に適し、ゲルまたは溶液の形態をとる医薬組成物であって、抗炎症活性薬と、

a) n が整数 $8 \div 22$ 、好ましくは $8 \div 12$ 、最も好ましくは 10 である、式 $\text{CH}_3 - (\text{CH}_2)_n - \text{CH}_2\text{OH}$ の飽和脂肪族アルコールもしくは飽和脂肪酸 $\text{CH}_3 - (\text{CH}_2)_n - \text{CH}_2\text{COOH}$ 、又は n が整数 $8 \div 22$ である、式： $\text{CH}_3(\text{C}_n\text{H}_{2(n-1)}) - \text{OH}$ もしくは $\text{CH}_3(\text{C}_n\text{H}_{2(n-1)}) - \text{COOH}$ の不飽和脂肪族アルコールもしくは脂肪酸、

b) $\text{C}_1 \div \text{C}_4$ アルコール、ポリアルコール、特にプロピレン・グリコール、及び水から構成される三元ビヒクル又はキャリアー、

c) 必要に応じてジエチレングリコールのモノアルキルエーテルの組み合わせからなる透過促進剤とからなることを特徴とする医薬組成物。

【請求項 14】

- 前記成分 a) が量的に 0.1 重量% ~ 20 重量%の範囲（好ましくは 0.2 ~ 3 %の範囲）にあり、

- 前記成分 b) が、全組成物に対して、アルカノールの 5 重量 % ÷ 75 重量 % 及びグリコールの 0.5 % ÷ 50 % からなり、

- 前記成分 c) が量的に最大 40 重量 % (好ましくは 2 ÷ 8 %) である、

請求項 13 に記載の医薬組成物。

【請求項 15】

ゲル化剤としてゲルの形態をとる請求項 13 又は 14 に記載の医薬組成物であって、

- カルボボールのようなポリアクリル酸

- ヒドロキシプロピルメチルセルロース、カルボキシメチルセルロース、エチルヒドロキシエチルセルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒドロキシエチルセルロースのようなセルロース誘導体

- ポリビニルピロリドン

- ポリオキシエチレン / ポリオキシプロピレン・コポリマー

- ポリビニルアルコール

- 天然ゴム、アルギン酸塩、ペクチン

からなる医薬組成物。

【請求項 16】

前記ゲル化剤の量が 0.2 重量 % と 30 重量 % の範囲内にある請求項 15 に記載の医薬組成物。